

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	251	学校名	仙台市立鶴が丘中学校	校長名	洞口 乃
------	-----	-----	------------	-----	------

1 取組のタイトル, テーマ

「SDGs について学び, 地域・未来のために考え, 実践する」



2 取組の紹介

- 総合的な学習の時間「仙台白菜を育てよう」
- 総合的な学習の時間「SDGs環境出前講話」
- 理科「自然環境の保全のために, 科学的根拠をもとに考える」
- 生徒会ボランティア活動「つる坊ランティア」

○ 仙台白菜を育てよう

総合的な学習の時間に, 仙台大学附属明成高校の協力の下, 仙台白菜について学びました。生育について講話いただいた後に実際に白菜を植え, 後日収穫するところまで体験しました。食べ物が完成するまでに様々な手間がかかっていることを知り, 日本や世界の食糧事情についても学びました。



○ SDGs 環境出前講話

総合的な学習の時間に, みやぎのSDGs環境学習支援事業を活用して環境出前講話を実施しました。講師の実体験を交えた講話を全校生徒で聴講した後, 自分たち一人一人にできることを考え, その行動が二酸化炭素の削減にどの程度つながるかタブレットを用いて学びました。



○ 自然環境の保全のために

理科の授業で実際に校地内の動植物を調査し, 水質や土壌環境の保全についてスライドを作成して発表しました。また, 外来生物の生活範囲拡大によって日本固有の在来生物の減少が深刻化している現状を知り, 「外来生物の駆除を積極的に実施するべきか」について, 対話的な学びを通して様々な意見に触れながら, 自然環境の保全に向けた意識を高めました。

○ つる坊ランティア

鶴が丘中学校では, 地域交流活動の一環として, 学区内の落ち葉拾いを通して, 地域の美化活動を行っています。活動の際には, 生徒会執行部を中心にボランティアを募り, 「つる坊ランティアチーム」を結成しました。同じ学区の小学校と活動区域を分担して活動することで, 児童・生徒一人一人が自分たちの住む地域の美化や通学路の安全に貢献できました。



3 取組の成果

SDGs について学んだうえで環境を意識しながら活動したことで, 生徒の興味や関心が高まり, 一人一人ができることについて深く考えることができました。仙台白菜の学習は食べ物に対する考え方を見つめ直す良い機会となり, 体験後は給食の残食が減りました。

また, 「つる坊ランティア」活動は, 生徒会執行部を中心に生徒の自主的な活動として定着していますが, これらの活動により, 自分たちが地域を活性化させる力があることを実感したように感じます。地域の方々に支えていただいている中学生ですが, 逆に地域の方々に恩返しをしながら地域を支える経験が, 中学生の心身の成長に確実につながっています。